

私たちは生卵を食べられませんが、「食べ物のを残すのはダメ」と教えられたので、どうしようと戸惑っていました。

日本に来た時、私は組合の先生に空港から栃木県にある研修センターまで車に乗せてもらいました。先生が気を使って色々と話しかけてくれましたが、片言の日本語でしか答えられませんでした。思うようにちゃんとした会話ができなかったので、先生と話すのはとても気まずかったのを覚えています。

移動の途中で、牛丼の店に連れて行ってもらいました。メニューを渡されましたが、日本語がよく分からなかったので、写真を見ながら食べたいものを指でさしました。そして、注文したものが提供された時、生卵付きだと気付きました。私は生卵を食べられませんが、食べ物を残すのはダメと教えられていたので、どうしようと戸惑っていました。幸いに、先生に理解してもらって、食べなくてもよかったです。

親切的な近所の夫婦

Hoanさんは研修センターから夜の9時に出発し、車で移動しました。三重県にある実習先の会社に着いたのは翌日の朝でした。部屋、家具、自転車など、日常生活に必要な物はほとんど用意されていました。そして、近所へ挨拶をしに行くときも社長と一緒に付き添ってくれました。

部屋は4階にあります。入居するとき、社長に近所のご夫婦の家に挨拶に連れて行ってもらいました。会社から帰って、マンションの周りに花の水やりや草の掃除をする近所の方とたまに顔を合わせることがあると、私にいつも話しかけてくれました。最初の頃は、先に話しかけてくれたのはその近所の方で、私はただ答えることしかできませんでした。私から近所の方に話しかけることができるようになったのは、初めて会ってから半年たった後くらいからです。ことばの使い方など日本語の勉強にもなると思い、自分から近所の方に話しかけるようにしました。

あるとき、近所の方に手作りの料理をご馳走してもらいました。そのお返しとして、私たちも春巻きを作り、近所の方におすそ分けしました。高齢者の団体の会員である近所の方を通じて、無料の日本語クラスや、ごみ拾いなど地域のボランティア活動に参加することもできるようになりました。帰国した今でも、近所の方とは連絡をとっています。

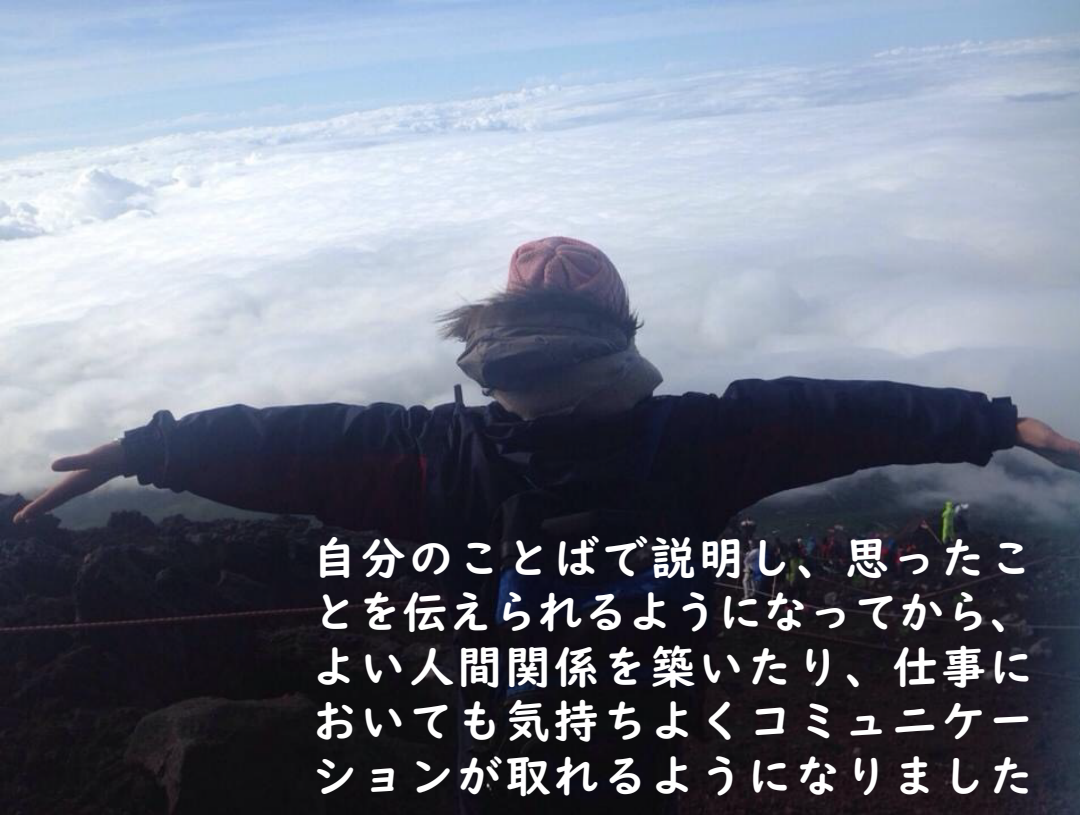


カルチャーショック

近所の方の家に遊びに誘ってもらったのは入居してから約2年ぐらい経って、だいぶ親しい関係になった頃でした。実際におうちに行く1-2週間前にいつ行くのか予定を立てました。ベトナム人だったら、仲良くなれば前もって遊びに行く約束をしなくても、気にせずいつでもお互いの家に遊びに行ったりするのに、どうしてそんなに前もって家に遊びに行く計画をするのか不思議に思いました。

技能実習生の一年目、日本語がまだできなかつたので、日本での生活をあまり楽しむことができませんでした。スーパーに行ったとき、商品やお得なキャンペーンの説明を理解できず、損した気分になりました。仕事では、社長や指導員の説明が聞き取れなかったところもあり、プレッシャーを感じました。自分の努力が足りなかつたと思い、同期の実習生とお互い励まし合いながら、日本語を勉強しました。

日本語が分からなかつたので、損した気分になることもありました。



自分のことばで説明し、思ったことを伝えられるようになってから、よい人間関係を築いたり、仕事においても気持ちよくコミュニケーションが取れるようになりました

実習生のHoanさんたちは、検品の他、プラスチック製の板にゴムの部品をのりでつけるという組立ての作業も任せられました。あるとき、出荷した商品はお客さんからゴムの部品がとれたというクレームがありました。

初めてクレームがあったとき、社長が全従業員に知らせて注意をしましたが、ゴムの部品を張り付ける作業をするのは私たち実習生なので、普通に考えれば私たちのミスです。納得がいかないところもありましたが、今度こそ慎重に作業しようと、と自分に言い聞かせました。

それから数カ月後、リーダも検品したにもかかわらず、またゴムの部品が取れたというクレームがありました。社長は怒って、私たちそしてリーダにも厳しく注意しました。

ただ、今回は私たちは黙っていられませんでした。丁寧に作業し、きちんと検品してから出荷したので、問題は私たちの作業ではなく、他のステップにあるのかもしれないと社長に説明しました。私たちの話を聞いて社長が調べてくれた結果、本当の原因が分かりました。船便で送られていたので、郵送の時間が長かったのです。熱い気候のなか、長時間段ボールに詰められたことでのりが溶けてしまい、ゴムの部品が取れてしまっていたのです。社長は私たちのミスではなかったことが分かり、原因を確認せずに厳しく注意しまったことについて私たちに謝りました。

初めて注意されたときは、日本語に自信がなく、原因もまだ不明だったので反論しませんでした。そのあと、やっぱり自分のミスではないと思ったので、社長に理解してもらうように説明しました。自分のことばで説明し、思ったことを伝えられるようになってから、よい人間関係を築いたり、仕事においても気持ちよくコミュニケーションが取れるようになりました。

あなたへのヒント

記事で、Hoanさんが組合の先生に空港から研修センターまで車に乗せてもらったという話があります。先生とあまり会話できなかったHoanさんはとても気まずい雰囲気になりました。そういった状況になったら、相手に質問をすることでコミュニケーションを続けることができます。

「スアン日本へ行く」*の第1話で、主人公のスアンも似た経験がありました。スアンはどのように解決したか、ぜひ番組をご覧ください。

<https://www.hikidasu.jp/.jp/corner/drama/01/>

*「スアン日本へ行く」ドラマは国際交流基金が作成した日本語学習番組「ひきだすにほんご」の一部コンテンツです。

今なんて言ったあ!?

会話が続かない...

お願いしたつもりなのに

ひきだすにほんご

ひきだすにほんご
Activate Your Japanese!

日本にほんで生活せいかつしたい

日本にほんで働はたらきたい

学んできた日本語を最大限にひきだす
ヒントが満載の15分番組(全24回)

A1 A2 B1 B2 C1 C2

JF Standard for Japanese-Language Education
様々な話題について話せるA2レベルから生活や
仕事上でより広く対話できるB1レベルを目指す
方が効果的です。

NHK EDU NHK EDUCATIONAL CORPORATION JAPAN FOUNDATION 国際交流基金